

## 雑草地のカメムシ多い！ 7月初めに草刈り行き、増殖抑えよう！！

除草を行っていない水田周辺雑草地では、斑点米カメムシ類の生息数が多く、特にカスミカメムシ類の発生が多くなっています。また、すでに水田内への侵入もみられています。斑点米カメムシ類の増殖を抑えるため、7月初めまでに、大麦跡や畦畔など水田周辺雑草の除草を徹底しましょう。

### 1 発生状況

- 6月下旬現在、イネ科雑草等が多い雑草地では、アカスジカスミカメやアカヒゲホソミドリカスミカメ等が平年・前年より多く発生している。〔平年、昨年より2倍以上〕
- カスミカメムシ類は雑草地から約70m飛翔し、斑点米の発生に影響を及ぼす。
- すでに水田内に侵入している圃場も見られ、今後はイネの出穂とともに水田内の生息数が増えると予想される。

### 2 防除対策

- 斑点米カメムシ類は、イネ科雑草で増殖するため、必ず水田周辺の雑草を除去する。
  - オオムギ跡は、雑草が伸び、カメムシ類の増殖地となっているので、ロータリーで浅く耕起するかモア等で除草する。
  - 草刈りは、斑点米抑制効果の高い7月初めまでに行う。(畦畔草刈り実践デーは7月2、3日)
  - 出穂期以降の草刈りは、カメムシ類の水田内への侵入を助長するので行わない。
  - ヒエ等の水田内の雑草は、カメムシ類の本田侵入、定着を助長するので、除草を徹底する。
  - 今年は稲の出穂が早くなる予想なので、作業が遅れないように注意する。
- ※暑い時期の作業となるので、熱中症に注意して作業を行う。



アカヒゲホソミドリカスミカメ成虫



アカスジカスミカメ成虫



ホソハリカメムシ成虫

☆最新の農薬登録情報 (<https://pesticide.maff.go.jp>) を確認して下さい

